

## 1. 広東省

### 1. 人事異動

●28日午前、第12期省人代常務委員会第36回会議が閉幕し、王瑞軍・元科学技術部国家科学技術評価センター主任が省科学技術庁長に就任し、汪一洋・省文化庁党組織書記が同庁長を兼任することが決定された（9月29日付『南方日報』）。

### 2. 省幹部による国内外要人との会談等

●25日午後、胡春華・省党書記が黄樹賢・民政部長と会談し、次のように述べた。民政部が指導を強化し、広東省が社会的扶助、災害救助・避難、福祉・社会保障等、民政の末端における能力を強化できるようにし、民生事業の発展水準を絶えず向上させてもらいたい（9月26日付『南方日報』）。

●26日、鄧海光・副省長がデンマーク皇太子一行と会談。鄧副省長は広東省の経済・社会の発展状況を簡潔に紹介し、次のように述べた。同省には現在、国際観光産業博覧会と国際観光文化祭という観光分野における2大国際協力プラットフォームがあり、デンマークが同省で観光を拡大させるイベントを開催することを歓迎し、両地域の観光協力を推進していきたい（9月27日付『南方日報』）。

●26日、黄寧生・副省長が在広州サウジアラビア総領事館の招きを受け、建国レセプションに出席し、次のように述べた。本年1月、同国は広州市に総領事館を設置し、各分野における広東省との交流・協力は更に強化されるだろう。同省は同国と共に、経済・貿易、エネルギー、生産能力、文化、教育、科学技術等の分野における交流・協力を全面的に深めていきたい（9月27日付『南方日報』）。

●27日午前、馬興瑞・省長がカンボジア副首相一行と会談し、経済・貿易、観光、農業等の分野での実務協力を全面的に深めていくことを希望。カンボジア副首相は、このたびの訪問で理解を深めた同省のクリーンな政治の構築と経済・社会の発展状況を通じて、中国、同省の先進的な経験に学び、双方が経済・貿易、観光、その他の分野での協力を絶えず深めるよう促進していきたい（9月28日付『南方日報』）。

●27日午前、馬興瑞・省長がシーメンス株式会社管理委員会メンバーと会談し、広東省は特に軌道交通インフラ建設等の重点分野における実務協力を積極的にサポートしていくと述べた（9月28日付『南方日報』）。

●28日、袁宝成・副省長がマルタの青年幹部視察団一行と会談し、次のように述べた。広東省は中国・マルタ両国の友好協力枠組みの下、同国と経済・貿易、金融、観光等の分野における交流・協力を絶えず推進していきたい（9月29日付『南方日報』）。

### 3. 2017年汎珠江デルタ地域協力行政首長合同会議の開催

●25日午前、湖南省長沙市で上記会議が開催され、9省・区の副省長・副主席、香港とマカオの責任者、行政首長合同会議秘書処秘書長、汎珠江デルタ協力で日常業務を行なっている各省・区の弁公室責任者等が出席。同会議は許達哲・湖南省長が主宰。2018年は広東省で開催される（9月26日付『南方日報』）。

●上記会議期間中、許達哲・湖南省長主宰の2017年汎珠江デルタ地域協力を深めるための省・区・部による協議会が開催され、広東省・広西チワン族自治区・貴州省の高速鉄道沿線を経済ベルトとする「一帯三園（1つの経済ベルトと広東・広西・貴州に3つの工業団地を建設）」を国レベルの協力試験区として申請することとなった（9月26日付『南方日報』）。

●25日、上記会議期間中、馬興瑞・省長とキャリー・ラム香港行政長官がハイレベル会談を開催し、広東・香

港・マカオ・ベイエリア建設等について議論を行なった。林少春・常務副省长も同席（9月26日付『南方日報』）。

#### 4. 各種会議の開催

●26日午後、胡春華・省党書記主宰の広東省に国家科学技術産業イノベーションセンター、企業の研究開発機構を建設していくための業務会議が開催され、胡書記と馬興瑞・省長が出席するとともに講話を行なった。胡書記は年内に主要営業部門の収入が5億元以上の工業企業はすべて研究開発機構を設置することを確実に実現させるよう強調。李玉妹・省人代主任、王栄・省政協主席も出席（9月27日付『南方日報』）。

●26日、胡春華・省党書記主宰の改革の全面深化に関する省党指導グループ第28回会議が開催され、習近平・総書記が改革の全面深化に関する中央指導グループ第38回会議で述べた重要講話の精神を伝達し、改革関連の文書について審議し、民生分野の改革状況に関する報告を聴取。馬興瑞・省長も出席（9月27日付『南方日報』）。

●26日午前、省政協研究諮問委員会第1回全体会議が開催され、王栄・省政協主席が出席するとともに講話を行い、次のように述べた。同委員会の設立は党中央と省党委員会の手配を貫徹・実行するためであり、人民政協の役目をより良く発揮させるという客観的な要求に書かれており、政協による政策提言の質・水準を高めることとなる協商民主の構築という革新的な実践を推し進めていく（9月27日付『南方日報』）。

●9月30日午前、胡春華・省党書記主宰の省党常務委員拡大会議が開催され、「孫政才の重大な紀律違反に対する調査状況と処分決定に関する党中央の報告」を伝達・学習し、党中央の処分・決定を揺るぎなく擁護し、全面的に厳格な党統治と反腐敗に関する党中央の各種重要手配を真剣に実行し、思想・政治・行動において終始習近平同志を核心とする党中央との高度な一致を維持するよう強調（10月1日付『南方日報』）。

#### 5. 2017年民政フォーラムの開催

●28日、広州市で上記フォーラムが開催され、黄樹賢・民政部長、馬興瑞・省長が出席するとともに挨拶を行なった。高曉兵・民政部副部長が開幕式を主宰するとともに、2017年の民政政策理論研究論文の受賞者を発表した。黄寧生・副省长も出席（9月29日付『南方日報』）。

#### 6. 珠海市横琴新区で中国自貿区情報港のプレート除幕式が開催

●29日午後、珠海市横琴新区で中国自貿区情報港のプレート除幕式が行われ、馬興瑞・省長、慎海雄・省宣伝部長が出席。慎部長は講話の中で次のように述べた。同情報港の設立はグローバル経済における発言権を握っていく仕事を担い、国のソフトパワーを向上させ、広東省のイノベーションによる発展という光栄な使命を後押しするものである。同情報港は南方財経オールメディア集団、大横琴科学技術、深圳新聞集団が共同で建設し、拠点となる本部ビルの建設を通じて、情報データ関連企業、インターネット企業、技術機構を誘致し、グローバルな自貿区として情報の収集・加工・宣伝・取引・発表が行えるハブセンターを築いていく（9月30日付『南方日報』）。

●29日午後、馬興瑞・省長が広東自貿区横琴エリアを視察し、横琴新区の建設・発展状況について理解を深め、ハイエンドの大型プロジェクトを誘致することに照準を定めていかなければならないと強調（9月30日付『南方日報』）。

#### 7. 国家行政学院監査・評価チームが広東省を視察

●28日～29日、馬建堂・国家行政学院常務副院長率いる上記チームが広東省を訪れ、同省の「行政学院業務条例」の実施状況について監査・評価を行うとともに、29日、省党委員会、省政府に対し、その結果を報告する会議を開催した。鄒銘・省組織部長も出席（9月30日付『南方日報』）。

## 8. 広東省・広州市烈士慰霊祭

●9月30日午前、広東省・広州市烈士慰霊祭、広州起義記念献花式が行われ、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任、王榮・省政協主席をはじめ、政界、軍、民間の各界代表2000人余りが出席（10月1日付『南方日報』）。

## **II. 広州市**

### 1. 広州代表団が World Routes 2017 に参加

●現地時間24日、広州代表団がスペイン・バルセロナで開催された World Routes 2017 に参加すると同時に、本年12月に開催予定の2017広州「フォーチュン」グローバルフォーラムの宣伝を行なった（9月25日、27日付『広州日報』）。

※World Routes：新規航空路線の誘致、観光業の発展を目的とする関係者が、新たなネットワーク構築のために集まる国際イベント、フォーラム。年1回開催され、毎年、世界の候補地から選出された1都市がホストとなる。今回は広州市がホストとなり、2018年9月15日～18日にかけて開催予定。

### 2. 黄浦区、広州開発区で緑葉生命科学集団と（株）新日本科学が戦略的提携

●28日、黄浦区、広州開発区で緑葉生命科学集団と（株）新日本科学が協力協定に署名し、双方は広州国際バイオ・アイランドに緑葉華南再生医療センターを設立することとなった。周亜偉・黄浦区党書記兼広州開発区工作委員会書記が劉殿波・緑葉生命科学集団董事局主席、永田良一（株）新日本科学社長一行と会談（9月29日付『広州日報』）。

### 3. 南沙区がオックスフォード・イノベーション発展（広州）センターの誘致に成功

●26日、オックスフォード大学で、蔡朝林・南沙区党書記、サー・ナイジェル・シャドボルト教授、輝橋資本会社が戦略的枠組み協定に署名。三者は南沙開発区に上記センターを共同で建設することとなった（9月29日付『広州日報』）。

※シャドボルト教授：英国王立工学アカデミー会員、オックスフォード大学ジーザス・カレッジ学長、AI科学者。

### 4. 2017広州「フォーチュン」グローバルフォーラム動員大会の開催

●9月30日午前、陳志英・常務副市長主宰の上記動員大会が開催され、温国輝・市長が出席するとともに、講話を行い、蔡朝林・同フォーラム執行委員会主任が準備状況の報告を行なった（10月1日付『広州日報』）。

### 5. 市党常務委員拡大会議の開催

●9月30日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議が開催され、「孫政才の重大な紀律違反に対する調査状況と処分決定に関する党中央の報告」と省党常務委員拡大会議の精神を伝達・学習し、党中央の処分決定を揺るぎなく擁護し、全面的に厳格な党統治と反腐敗に関する党中央の各種重要手配を真剣に実行し、思想・政治・行動において終始習近平同志を核心とする党中央との高度な一致を維持するよう強調（10月1日付『広州日報』）。

### 6. 広州日報華南国際モーターショーの開催

●1日、上記モーターショーが開幕し、3日午後時点での訪問客数はのべ3.6万人だった。また、広州市の隣に位置する仏山市でも、同期間に国際モーターショーが開催された（10月2日、4日付『広州日報』）。

### Ⅲ. 深圳市

#### 1. 中国・スウェーデン技術・イノベーション基金が設立

●26日、深圳市投資ホールディングス株式会社傘下の投資ホールディングス・インターナショナルと、スウェーデン・イノベーション発展グループ企業の北欧成長技術ホールディングス有限公司が上記基金の共同出資協定署名式を行い、双方は総額100億円の基金を共同で立ち上げる事となった。艾学峰・副市长、フレドリック・ラインフェルト前スウェーデン首相等が署名に立ち会った（9月27日付『深圳特区報』）。

#### 2. 第24回（2017）アジア太平洋ソーシャルワーク（SW）会議の開催

●26日～29日、「チャレンジと責任——SWの刷新と持続可能な発展」をテーマとした上記会議が開催され、20以上のアジア太平洋諸国・地域から約400人のソーシャルワーカーや学者等の専門家が出席し、実践経験と理念を共有し、SWの刷新と持続可能な発展の推進について検討した。27日午前に行われた開幕式には、黄樹賢・民政部長、宮蒲光・中国SW連合会会長、陳如桂・市長、国際ソーシャルワーカー連合会会長等が出席（9月28日付『深圳特区報』）。

#### 3. 深圳・モスクワ直行便が就航

●28日午後、266人の観光客を乗せた南方航空CZ8371便が定刻通りに飛び立ったことは、深圳・モスクワ直行便が初飛行に成功したことを意味する。これは南方航空が深圳空港から就航させる16本目の国際線であり、同空港からロシアへの初の直行便となった。月曜日と木曜日の週2本運行される（9月29日付『深圳特区報』）。

#### 4. 市宣伝部、市外弁がカナダ・トロント市で深圳市のイメージ・プロモーションを開催

●9月29日、カナダ・トロント市で、市宣伝部、市外事弁公室共催、市国際交流協力基金協力の「深圳文化ウィーク・深圳国際イメージ・プロモーション」が行われ、トルドー首相から祝賀メッセージが送られた（10月1日付『深圳特区報』）。

#### 5. BYDが米国で電動バス製造工場の竣工式を開催

●6日、BYDが米カリフォルニア州ランカスター市で上記竣工式を行なった。建設された電動バス工場は、米国では初の中国独資によるバス工場であり、北米最大規模である。同工場では現在800人を雇用しており、新エネルギー（太陽光発電）利用の新工場が完成すれば、1500人以上に就業機会を提供できる見込み（10月8日付『深圳特区報』）。